



つながる力・つなげる力

白百合女子大学での研究や教育の営みが、今後思いもよらぬ形で地域や社会の中でつながり、多様で豊かな社会をつくりだすきっかけとなることを願い、2025年度の公開講座を開催いたします。

どなたでも
受講できます

開催概要

- 対面式
- 会場 / 白百合女子大学 11号館 3F クララホール
都合により講座の延期や中止、内容変更等生じる場合がございます。その際には大学ホームページにてお知らせいたします。

受講料

1000円、当日支払い

申込方法

申込みフォーム（右記QRコード）
または大学HPよりお申込みください



5/10 Sat

10:00~11:30

高橋博史

白百合女子大学 文学部
国語国文学科 元教授
言語・文学研究センター客員所員

宮澤賢治『セロ弾きのゴーシュ』が語る人間と自然

— 楽長の音楽とかつこうの音楽 —

作品は「ああかつこう。あのときはすまなかったなあ。おれは怒ったんじゃないかなかったんだ」というゴーシュの言葉で終わっています。なぜかつこうなのでしょう、怒ったのではなかったらどうだったのでしょうか。謎めいた眩きには、人間と自然についての苦い思いが込められていることを、作品全体を読み解くことで、明らかにしていきます。



6/7 Sat

10:00~11:30

平尾桂子

白百合女子大学
ライフ・リテラシー教育センター 教授
上智大学名誉教授

CMに見る日本のジェンダーと家族：2000 - 2025

「少子化」が社会問題になったのは1990年、それから35年たちました。その間日本の社会、特にジェンダーと家族で何が変わり何が変わらなかったのか。それをテレビのCMの変遷を読み解くことで考えます。取り上げるCMは学習塾や栄養ドリンク、洗剤や食品会社の企業広告などです。同じ商品(企業)の「定点観測」を通じて、世の中の「あたりまえ」を解読する楽しさを一緒に味わってみませんか。



7/12 Sat

10:00~11:30

山中智省

白百合女子大学 人間総合学部
児童文化学科 准教授

「聖地巡礼」でつながる地域 / つなげる人の輪

作品の舞台やモデルとなった場所をファンが実際に訪れる「聖地巡礼」。特に、アニメや映画のような映像コンテンツから生じた事例は、たびたび社会の注目を集めてきました。こうしたなか、活字コンテンツであるライトノベルでも、興味深い動向が現れ始めています。今回は近年の話題作である裕夢『千歳くんはラムネ瓶のなか』（ガガガ文庫）の事例を中心に、その実態へと迫ります。



11/8 Sat

10:00~11:30

島金香奈

白百合女子大学 文学部
フランス語フランス文学科 准教授

ヴェルサイユ宮殿と祝祭劇

— ジャン・ラシーヌ『イフィジェニー』 —

フランス国王ルイ14世は、ヴェルサイユにあった城館をおよそ50年かけて増築し、ヨーロッパ随一の宮殿をつくりあげました。建物と同じようにルイ14世の自慢だったのが庭園です。ルイ14世は、ヴェルサイユの庭園で3回祝祭を行いました。そこで上演された祝祭劇ジャン・ラシーヌの『イフィジェニー』をご紹介します。



12/6 Sat

10:00~11:30

鷹野理芳

書家
毎日書道会評議員
十文字学園女子大学 非常勤講師

よみがえる文～源氏物語の恋文

源氏物語をはじめとする王朝文学には、多くの恋文が書かれています。紙や筆跡、季節の花に結ぶなど、趣向を凝らした文が通わされていました。これらの恋文を、平安時代の古筆に基づく優美な書道でよみがえらせることに、取り組んでいます。登場人物の筆跡の再現方法やその取り組みについて、お話しするとともに実践いたします。

問合せ先

社会連携センター

03-3326-6877

renkei@shirayuri.ac.jp

白百合女子大学

〒182-8525 調布市緑ヶ丘1-25

https://www.shirayuri.ac.jp/

